



中村俊定文庫  
文庫 18  
1010











乃よよよ



天地のへそあそびの糸の道  
ひろくは代も

筑波根の志の  
ておまひ

良くこのせいで  
れ



梅日記のさくら

ありやうもつらやういふさのち

ありやうもつらやういふさのち

若いさくら

若いさくら

若いさくら

宇治川

ぬくむのさくら

ぬくむのさくら

扇のさくら

扇のさくら

扇のさくら



おきんげい

さくらんぼのつぼみ

堤を渡る

葉をひらきながらの花のまはり

さくらんぼのつぼみ

さくらんぼのつぼみ

古梅園の石液を

あなごころのつぼみ

さくらんぼのつぼみ

さくらんぼのつぼみ

酒作りのつぼみ

さくらんぼのつぼみ



うら 中よ 中しり ともいれ

新の跡とて 西のうり ありとて

りしり あり 池の 山 藤とて 池

乃 ともいしり ともい 菜とて

ともい ともいしり ともい ともい

松 木の 葉とて あり ともい ともい

あし ちの 跡あり ともい ともい

ともい ともい ともい ともい

今 ともい ともい ともい ともい

ともい ともい ともい ともい

ともい ともい

あし ちの 跡あり ともい ともい



漸々こめに書しつゝ

橋寺まきつゝ橋

いく交々読まあり

吾れ

若くは

あつち

にや

さう

や

し

若

洲



うさしてうも花のたぬかしこ

若中よのかりてちしよあひて

柳糸のうひのうあふ天のトあひし

あしうむ昔よりそましのやい

うらうらよあしよあしよいしれ

とるくりにふとあふあふあふあふ

してふりくよあひまつくろこの天

はあしよあしよあしよあしよあしよ

あはのあしよあしよあしよあしよあしよ

いふよあしよあしよ

美人のうらあしよあしよあしよあしよ

あしよあしよあしよあしよあしよ



おがしげふりりそよちゆるのちきぬ

川原の結子今もさりし

あめいやくいん

日にとふふりりちぬをむら

昔世のまよまねふりり

いそよふらふらふらふらふら

夕くまをゆかりふらの秋のちきぬ

ふるりりりぬ民くさもあゆち

しりりりりりりりりりりりり

さそりりりりりりりりりりりり

くよあいらんさかきりりりりりり

と神のまよふたあひりりりりりり



のふの八十律の破なきむしりる  
かゝぬめいしんらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに  
天比の律と申しむねに  
れこましむねにらりしむねに  
ちりしむねにらりしむねに

らりしむねにらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに  
らりしむねにらりしむねに



波しのこみ舟のつらめく

こよしの花をさめ花の如

里人のゆきふしむしのこ

修林くさくさのし

流丸カキナリ

咲花よむをさくさくむ

ひよきのむしむしむしむ

こよしのこみ舟のつらめく

川しのりり今もなむ

花をさめ

こよしの花をさめ花の如

みくさむしむしむしむ

れとまむしのこみ舟のつらめく











青山の松の老しつらとあはれ

つきの海つらとあはれ

青山の山姥もそとに海ふら

つらとあはれしつらとあはれ

花ももつらとあはれしつらとあはれ

あはれつらとあはれしつらとあはれ

乃風のきくもあはれ

川音のつらとあはれしつらとあはれ

つきの海つらとあはれ

あはれつらとあはれしつらとあはれ

あはれつらとあはれしつらとあはれ

あはれ



卯のむらさき  
古のあはれ  
くもさき  
しんかの敷  
はしき  
ふら

つら  
しんかの敷  
はしき  
ふら  
津の園  
海小



ひく綱のいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち

ちりよのいふよにちしきしつち























あはれめいししししししし

よゆりりりりりりり

貴泉よししししししし

秋如のほきとのゆき

ちよししししししし

あししししししし

大ししししししし

居ししししししし

いししししししし

あししししししし

かしししししし

彼んちししししし



清洲川のやどりよ

清洲のこゝまに清洲の木のた  
らけけららけけけけけけ

らけけけけけ

らけけけけけけけけけけ

梅の尾よ

花ふさぐ人〜の尾のよ  
の〜の〜の〜の〜の

らけけけけ

らけけけけけけけけ

らけけけけけけ

らけけの尾よ



秋こころ小病しとわらわてあしき冬の  
きりぬの志塚年りしよつ

照のましこころあせり

あまのこころあせりしよつあせりあせり

八坂のあしよあせりのまのあせり

あせりあせりあせり

おのまの神降しん天よあせり

武七のしんあせりしよつあせり

あせりあせりあせり

月のあせりあせりあせりあせりあせり

あせりあせりあせりあせりあせりあせり

あせりあせりあせりあせりあせりあせり







大はしと月をさく

さく波のちかしのち津よよち波のち  
清みそ月よきちりく

ゆくりりりりりり

るれよひのやちりりりりりり  
の月をさくさくさくさく

海らくやちりりりりりりりり  
松のちりりりりりりりりりり

牛はしと月をさく

秋のよ牛よよよよよよよよ

夕暮よ色をさく

日らくさくさくさくさくさくさく



秋と一多のまゝ月も照らさ

垣のさゆふしり

序意

序貝も成るふしりて我しく移る  
くくむ序意

源

中書もふしりてえぬわし

とそとふしりて

しりて

岩木ふしりて

いふしりて

時







さいのしづか——のねふ秋風の  
むかしのきこえに——  
秋もくやうきからぬあき——  
いふ<sup>ユ</sup>あけくさやあきん

文友

花のいろふさめ——あきあきん

春のいろこよ何とあきあき

みづき

秋のちかみのあきあきあき  
あきあきあきあきあき  
あきあきあきあきあき  
あきあきあきあきあき







天の川河津をふりて音の鳴り  
ききとけしむなるし  
こゝろしるくまのふりての川  
のまじりてのまじりて  
非代しるしるしるしるしるしる  
年とくしるしるしるしるしる

氷

下りてのまじりてのまじりて  
旅  
こゝろしるしるしるしるしるしる  
しるしるしるしるしるしるしる



かゝるしつゝあつたふいふにがらゝん  
つゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

林間蝉

あつたふいふのけのきゝゝゝ  
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

旅を志す

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ  
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

教養心の差をこころみる

はのふれ國のこころゝゝゝゝゝ  
もこのふれ類はゝゝゝゝゝゝゝ  
下あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



















くまをさうりーわーひまのきふ  
ころひトガ車ふ月くおぬその月も  
やーころかひひさーしーあそがり  
まぬあつーいおもさむとたのの  
城ツカふせひーころおの本のここれーも  
うふわーくわーくーくーくーくーくー

うーいあやーーあーいーいあまー  
あーあーのあまのあやうあふああ  
いふーりあーあーあーあーあーあー  
あまーあーあまーあまのあまあまー  
張人よのりーあーあーあーあーあ  
あまイツのあまあまあまあまあまあま



しんりやとまふはたはる  
はるやと我はるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる

物もおろしやあしむら子使  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる  
はるはるはるはるはるはる



















あはれなるはたしむるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは

いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは  
いかにあはれなるは



天の川京の妹をこころし

河川のほとりわたり

秋もくさむらじゆ

山嵐ふねのさか

まげ月とるあらし

家さしり猿やあはれ

かみしりあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あの中あはれ







柳の花うしろもさきりりいり人のゆえ  
大塚のまきハハハハハ

名取島

うらのくさるあまのあまぬか島  
うやこの人や後々のりうむ

如是相

桜さくらさくらさくらさくらさくら  
さくらさくらさくらさくらさくらさくら

あまのまきハハハハハ  
右のおひささかさくらさくらさくらさくら  
さくらさくらさくらさくら

あまのまきハハハハハ



の花よりほくくねま〜  
大空やまろかの山の嶽くま〜  
〜とあま〜りり

山崎山とまあ

し國のぬのこ仲ふま〜  
かのぶのふ〜

南庄十八歌

そのふ

あ〜くもま〜  
ふの木のまふ〜

そ梅

位のえの候ね風のま〜



留修しつゝせらる

其本

之類はふりしふ余もふりぬ

其本のおもふもてふぬ

おれ

おれせぬもてふりしつゝせらる

しつゝせらる

おれ

おれはよ本のえぬもてふりしつゝせらる

しつゝせらる

おれ

しつゝせらる























あつきの秋の風をうたへて  
あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて

あつきの秋の風をうたへて







柳舟の園のそとくそふゆかやふゆ  
るおのしそふきま  
ふふやふふふふふふふふふ  
おしむきふふふ

ふ月夜の夜ふゆのふふ  
くはるふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふ

文神やふふふふふふの  
月乃新とふふふ

ふ丸のふふふ

大くのふふふふふふ  
ふふふふふふ



宮後山

秋山の峰一そあしせりても一の大  
うやあそことしつゝ

宮後山もさうあつていふは

まの世を妹むくも

うりくはつにちりつゝいふも

此如あれと妹のこしあれと

あつれの比

踏むくよあつてはさつゝいふのあ

かきつゝあつてはあつて

又の年々秋山のあつては

あつて



何とあれいさくれのゆゑにきつひと  
はるのめいりりりりりりりりりりり  
おとろと<sup>そとろ</sup>おとろとろとろとろとろとろと  
あくれのおやややややややや  
こまいぬこのおのたまはななななななな  
おとろとろとろとろとろとろとろとろと

何よ〜〜〜のゆゑにきつひと

旅時ぬ  
ら〜〜

我ハ簍もきつひとあ〜とろとろとろと  
時毎よ〜りりりりりりりりりりりりりり

あき

水きのたらくて移りぬこのおとろとろ



那〜〜〜

そら

は〜〜〜

田の〜〜〜

その〜〜〜

松の〜〜〜

月〜〜

き〜〜〜

き〜〜〜

あ〜〜

い〜〜〜

〜〜〜







~~~~~

夢のほれ構

夢のほれ構~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~















くはにたかちちかきりて  
そがたせのりて  
そののちめくはかたの  
めしあもくはたもあ  
かきりて  
かきりて  
かきりて  
かきりて

山崎の巻

きりて  
かきりて  
かきりて

山崎の巻

かきりて  
かきりて  
かきりて



友山清水

あふふいふはゆふの解のまののさ  
こゝろこゝろ清くわらわら

茅綱

白らりりのくももたつてはくき  
まこいまのの目もくもく

暁 暮 踏 出

これのこゝろあふいしゆり  
くしとまよあしそののま

蒲 実 意

首<sup>カマツ</sup>地<sup>ツ</sup>持<sup>ツ</sup>くおしも道坂の風や  
ちこく妹ふあふこ



みぎの花

あめくふらふらと  
こふふの花おとせ

あつこの花

あつこはつこ  
あつこはつこはつこ

あつこ

あつこはつこ  
あつこはつこ

あつこ

あつこはつこ  
あつこはつこ



夏邊迄

まことの夜もこゝろひもあひぬき  
うら夏うらあれいも人のあはれ

年の暮

まはもつこきあはれいも人のあはれ  
まはもつこきあはれいも人のあはれ

春うら

まはもつこきあはれいも人のあはれ

まはもつこきあはれいも人のあはれ

東の山ゆいこきあはれいも人のあはれ

まはもつこきあはれいも人のあはれ

牛川いもあはれいも人のあはれ



鮎子

清純の眼をくちくちと見守るの如く  
春よ何処にゆく

春をき

久くはくちくちと見守るの如く  
春よ何処にゆく

山

春よ何処にゆく見守るの如く  
清純の眼をくちくちと見守るの如く

春よ何処にゆく見守るの如く

尾張田のふりふり見守るの如く  
春よ何処にゆく見守るの如く



本國の事情を以て  
其の如く

は海にわたる  
津の  
しるし  
いふ

の  
業  
海者  
は  
与



きり人らよしむと暮らつての月日  
よき言はけらし

春の序文

春は木の花のさかすか  
たぐれと林は散り  
春のさかすか

入るは春のさかすか  
春はさかすか  
大空はさかすか  
波はさかすか  
花はさかすか  
鳥はさかすか



Handwritten text in cursive script, likely a signature or calligraphy, consisting of three vertical lines of characters.

昭和十五年二月二十三日影画校合





182  
丁未年  
丁未年



